

4期14年の任期を振り返って



私は、平成6年の市長就任以来、4期14年間にわたり、市民の皆様のご支援・ご協力の下、ふるさとの限りない発展と市民の幸せを願い、日々市政に取り組んでまいりました。11月13日の任期満了をもって、市長を退任することいたしました。紙面をお借りして、謹んで市民の皆様にお礼とお別れのごあいさつを申し上げます。

顧みますと、これまでの道のりは決して平坦なものではありませんでしたが、議会の皆様、さらには多くの市民の皆様のご支援やご協力をいただき、職員とともに、持てる情熱と英知を結集して、幾多の困難を乗り越え、市政の重要課題に果敢に、そして全力で取り組むことができました。

こうして今、議員の皆様や市民の方々から賜りましたご厚情を胸中に思い起こしますと、感謝の気持ちが

せきを切ったように湧き出てまいります。

市長在任中の思い出は言い尽くすことができませんが、私は今日まで、常に『改革・刷新』を念頭に、積極かつ慎重にまちづくりに取り組んでまいりました。

春夏秋冬、苦しかったこと、楽しかったこと、数をあげれば切りがありませんが、その中で一番印象深く残っておりますのは、光市と大和町との合併であります。

一年半にわたる合併協議の間、合併は最大の行政改革という視点から絶えず、市民の皆様が両市町の将来を真剣に考え、大局的な立場から真摯な議論を展開されました。

こうした熱意に後押しされ全国に誇れる合併を成し遂げることができたと考えております。

私は市長の職責から引退をいたしますが、私を育ててくれました「光



を思う心は、終生、変わるものではないと思います。

今後は、これまでお世話になりました方々に感謝しつつ、家族とともに人生の総仕上げの時間を過ごしてまいりたいと考えております。また、市民の一人として地域から市政を盛り上げるお手伝いをしてみたいとも思っております。

結びに、市民の皆様へのお礼と感謝の意を言い尽くすことはできませんが、光市の限らない隆盛と皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。退任に当たりましてのごあいさつといたします。

平成20年11月13日

市長 末岡 泰義